

# ニュージーランドでのモスク襲撃事件から、 多文化共生を考える 日本では？イラクでは？

4月27日(土)@天光院  
(港区芝公園)

3月15日、ニュージーランドのクライストチャーチにあるモスク2カ所で、金曜礼拝の参加者が銃乱射を受け、50人が死亡するという同国史上最悪の銃乱射事件が起きました。

犯人の動機は、異なる人種や宗教の人達に対する激しい「憎悪」であったとされています。

## 移民が増えていく日本

日本ではこの4月から、外国人に対して新たな在留資格が設けられ、受け入れが拡大されました。外国人の単純労働に門戸を開き、2025年までに50万人超の就業を目指すこととされ、本格的な移民社会への移行を迎えつつあります。

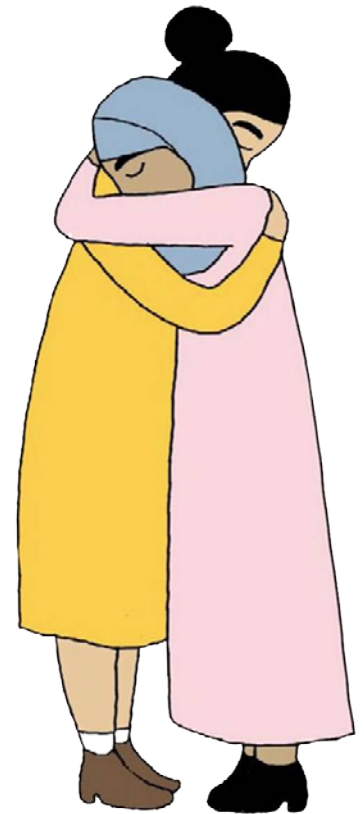
日本も、宗教や人種など多様なバックグラウンドを持つ人々が暮らす社会になっていきます。

今回のような事件が、いつか日本でも  
起こるかも知れません。  
その前に、一緒に考えてみませんか？

## 「多様性」「共生」どうすれば？

移民社会化が進んでいるニュージーランド・クライストチャーチ出身で日本在住のエリザベス・ステニングさんから、ニュージーランドの多様性豊かな社会や教育についてお話しいただきます。

ぜひ、今後移民が増えていく日本で私たちがどうしていけばよいのか、一緒に考えてたいと思います。  
皆様のご来場をお待ちしております。



THIS IS YOUR HOME  
AND YOU SHOULD HAVE  
BEEN SAFE HERE

(ここはあなた方の国。あなた方は安全でいられるはずだったのに。)

## イベント概要

- 日時： 2019年4月27日(土) 18時00分～20時00分  
場所： 天光院  
〒105-0011東京都港区芝公園1-3-16
- アクセス 都営地下鉄三田線 御成門駅A2出口から徒歩1分
- 参加費： ￥500
- お申込み： 下記に①お名前②ご参加人数をご連絡ください  
TEL：03-3834-2388  
MAIL：ghamra@ngo-jvc.net



## プログラム

- ❖ 講演
  - これから変わる日本社会  
(明治学院大学 教養教育センター准教授 長谷部 美佳氏)
  - NZの多様性豊かな社会について (エリザベス・ステニング氏)
  - イラクでの多文化共生事業 (JVCイラク事業担当 ガムラ・リファイ)
- ❖ パネルディスカッション：  
司会：前JVCイラク事業担当 池田未樹

## 主催団体

### 日本国際ボランティアセンター (JVC)

1980年にインドシナ難民の救援を機に発足し、現在はアジア、アフリカ、中東で活動している国際協力NGOです。

2009年から、JVCはイラク現地団体インサーンと協力してイラク北部のキルクーク市での「子どもたちと創る平和ワークショップ」を開始しました。民族別の学校に通う子どもたちに、他の民族の子どもたちと出会うたり話したりする機会をつくってきました。

イスラム過激派ISの台頭により多くの国内避難民が発生した2014年以降は、避難民の支援にも活動を広げていきます。



人種や宗教などの違いを超えて共生を学ぶイラクの子どもたち

主催：日本国際ボランティアセンター (JVC)

協力：アーユス仏教国際協力ネットワーク

担当：ガムラ・リファイ ghamra@ngo-jvc.net 03-3834-2388